

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人制体」粉碎!

12.8反核横浜集会がちとる

横浜市大通り公園において開かれた、十二・八核戦争反対・核兵器廃絶・ヨーロッパの闘いに連帯する平和集会に参加した。わが動労千葉は青年部を中心に六〇名が寒風をもとめせず千葉県労連の旗のもとに結集し、今日の世界戦争前夜の情勢のなかで反戦・反核・平和の闘いと位置づけ、その最先頭で闘い抜いた。

一万人の労働者が結集して埋めつくされ、十八時より始まったこの横浜集会では、「被爆者代表」「戦争を許さない女たちの代表」や「僧侶」等々のそれぞれの闘い、運動の重要性・緊急性が生々しく報告され、核を廃絶し、戦争に反対する闘いの重要性・緊急性をあらためて参加者全体で確認した。動労千葉は会場に到着と同時に用意した三〇〇〇枚のピラを青年部がまきはじめるとたちまちさばけてしまい、熱気に満ちた集会が勝ちとられた。

今こそ反戦・反核の闘いを!

いま、世界をめぐる情勢は、アメリカ・レーガンの戦争挑発策動、ヨーロッパにおける戦域核配備、限定核戦争発言により、反戦・反核運動がまきおこり、数十万、数百万の労働者人民が決起し西ドイツ、フランス、オランダなどヨーロッパ各国で闘われている。このようにヨーロッパの闘う労働者・人民と連帯し、反核・反戦闘争を断固として闘わなければならない。

また、唯一の被爆国での日本において、政府・自民党は、いま「ソ連脅威論」をことさらにがりたて、軍備の増強や原発積極推進をはかり、一方では「行革」のもとに教育・福祉予算の切捨て、労働者には大合理化攻撃をかけ、労働者人民の大衆的決起に対して戦争への道へ引きずり込もうと策動している。

われわれはこうした戦争への道を断固として阻止しなければならない。

三里塚二期阻止をもつて戦争政策と対決しよう!

激動の時代にあつて、反戦・平和の闘いこそ、最重要課題となってくる。侵略戦争に対決しなければならぬ日本の労働運動総体が、今、右翼労働

戦「統一」の流れ、企業防衛主義、武器生産に向けた産報化の方向に進むのを何としても阻止しなければならぬ。体制側からの労働運動破壊Ⅱ産報化に抗し、いかに闘うかが問われている。その唯一の道は三里塚を基軸にした労働運動こそが、勝利の道にほかならない。

集会は熱気のうちには決議文が読みあげられ、集会終了後、動労千葉は、デモ隊の最先頭でシユプレビコールとかけ声で横浜市の中心街のデモ行進を貫徹した。



サークル協賛連盟総会終る

(1) スポーツ連盟
新役員決まる
会長……大岩定雄
副会長……中村勝弥
副会長……石井隆男

(2) 今後のスポーツ連盟の運営方法
★各大会は、それぞれ部会が中心となつて運営する。

(3) 今後の予定
★スキー大会 1月27日、29日 長野県菅平
★ボウリング大会 1月下旬、2月上旬